

吉田の市営住宅の「カビ」 市の住宅整備課と懇談

小倉生健会は、小倉南区で班を作るために模倣的な班会議を7回開いています。その中で、「市住の部屋でカビがひどい」という相談が寄せられました。

直ぐに見に行き、そのひどさにごく然としました。みんなで相談し、まず、団地の実態調査を行いました。その結果、小倉生健会と面談できた9軒の内8軒、実に89%でカビが発生していることが分かりました。

市は、「部屋のカビは自己責任だ」と公言していますので、宇土浩一郎市議など日本共産党の市議団と一緒に、「まず、市営団地の実態調

査」を求めて、市の住宅整備課と懇談をしました。

懇談会の中で、住宅整備課長は「実態調査をします」と回答しました。

生健会は、生活保護だけでなく、医療・介護・年金・税金・住宅問題など、生活と健康を守るための団体です。皆さんと力を合わせて“要求実現”のため頑張ります。



住宅整備課と懇談する、参加者

大変だ！「オスプレイが小倉」にも 田村衆議に首相が回答

自衛隊航空機の低空飛行訓練区域

福岡県	16	小倉駐屯地富野分屯地、曽根訓練場、小倉駐屯地、飯塚駐屯地、西山訓練場、福岡駐屯地、小郡駐屯地、久留米駐屯地、鷹取山、高良台演習場、高良山、筑肥山地、英彦山系周辺、福岡北方海上、大牟田西方海上及び北背振
佐賀県	6	目達原駐屯地、天山、北背振、背振山地、壱岐水道周辺及び大野原・大多武東部
長崎県	14	対馬、相浦駐屯地、崎辺、大野原演習場、大村湾川棚海域、大多武演習場、大村駐屯地、大壘島、春日基地福江島分屯基地、津多羅島、壱岐水道周辺、大野原・大多武東部、宇久島及び橋湾
大分県	8	十文字原演習場、別府駐屯地、湯布院駐屯地、玖珠駐屯地、筑肥山地、英彦山系周辺、日出生台演習場周辺及び九州山地
熊本県	21	竜門ダム、鞍岳、高岳、烏帽子岳、熊本空港、健軍駐屯地、北熊本駐屯地、黒石原演習場、菊池川河川敷、緑川河川敷、筑肥山地、橋湾、日出生台演習場周辺、九州山地、大矢野原演習場周辺、中部国有林、大葉島、上天草、長島西方海上、中部国有林南部及び国見山地
宮崎県	6	えびの駐屯地、都城駐屯地 九州山地、大矢野原演習場周辺、国見山地及び霧島演習場
鹿児島県	14	国分駐屯地、福山演習場、川内駐屯地、川内演習場、野島、下甕分屯基地、長島西方海上、国見山地、霧島演習場、奄美大島、種子島、徳之島、臥蛇島及び那覇基地沖永良部島分屯基地
九州計	85	(↑赤字の4ヶ所は、陸自オスプレイの訓練区域として既に設定されている)

小倉生健会
生活と健康を守る
 一人はみんなのために、みんなは一人のために



年金制度改悪法 成立 「百年安心の年金」のウソを継続

以前、公明党が「百年安心の年金制度ができた」と大宣伝をしたことを覚えていますか？

当時、社会保障を担当する厚労大臣は公明党が独占していました。ところが、医療・介護・年金などの社会保障を次々に改悪したため、今は、国交大臣に鞍替えしています。

この「百年安心の年金」制度は、「マクロ経済スライド（MS）」制度と呼ばれています。

そんな中、国会最終盤に十分な審議もないまま、自民、公明、立憲民主の3党合意で年金改悪法を国会で成立させました。

昨年の物価は2.7%も上がったのに、年金は1.9%しか上がりませんでした。その原因が「（MS）制度」です。この13年間に物価は15%近く上がっているのに、年金は5.5%しか増えていません。不安が広がるばかりです。



市への原告らの申入れを伝える KBC テレビ

自・公政府は、（MS）は「年金を抑えることで、若い世代の将来の年金を増やす」と説明していますが、国の説明とは逆に（MS）で、基礎年金が2052年度には3割も目減りし、若い世代が将来受けとる基礎年金は大幅に減る仕組みです。

自・公と立民の3党が合意した内容は、今後5年間は（MS）を続け、5年後に積立金の活用を「検討」というものです。

しかし、次の三つを実施すれば（MS）をただちにやめることが可能です。

- ① 290兆円にも膨れた年金積立金を、すぐに活用する。
 - ② 高額所得者の保険料の上限を、健康保険の上限と同じ額にして年金財源を1兆円増やす。
 - ③ 大企業・大富豪優先の経済政策から、国民優先の経済政策に転換する。
- こうして、年金財政の条件を良くする。

○生存権裁判勝利 最高裁が国の違法を認定
 ○小倉生健会が、総会を開催
 関連記事は「裏面」に掲載しました。

6月北九州市議会に、「エアコン設置費用支援」を求める陳情を提出。



市議会に陳情を提出する 門司・小倉・八幡の生健会代表

近所の空き地で「ネジバナ」の右巻きと、左巻きが並んで咲いているのを見つけました。
 花は、いつも同じところに咲くので、見つけやすく、見つけると嬉しくなります。
 ネジバナはラン科なので、花は小さくても華麗で可憐、色も鮮やかです。（写真撮影と掲載が難しかった）

米もG7(日本を含む)も、狂ってる



あとは よきにはからえ 佐藤 正明 西日本新聞より

国の生活保護費引下げに、最高裁が断罪判決 各紙の鋭い主張・社説から

西日本新聞は「生活保護制度を、行政が恣意(しい)的にゆがめたと司法が断罪した」。朝日新聞も「行政に広い裁量権を認めて追認するのではなく、行政の合理性をきちんと審査する、本来の司法の役割を果たした判決と言える」と主張。

東京新聞も「生活保護は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障した憲法に基づく「社会の命綱」だ。生存権を有名無実化させてはならない」と述べた。

行政を歪めた背景として、「しんぶん赤旗」は「自民党議員を先頭に大々的にバッシングがあおられ、安倍総裁の下、自民党が2012年の総選挙公約で生活保護費の1割カットを決めた」と明快だ。

また、生活保護が47種の社会保障の基準になっていることをふまえ「生活保護基準は、最低賃金、就学援助、国保料の減免基準など国民全体にかかわる制度と連動します。最低生活の水準引き下げは社会保障全体を引き下げることになります。自己責任論による分断に乗ることは、国民が自らの首を絞める」(赤旗)と述べている。

最高裁判決後について赤旗は「生活に困窮したら誰でも利用できる人間らしく生きるための保障、『命を守る最後の砦』が生活保護制度です。この砦を崩してきた自公政権に対し、国は過ちを認めて謝罪し、減額前の水準に戻し、原告以外の利用者を含め減額分をさかのぼって支払うべき。なぜ違法行為が行われたのか検証すべき」と主張している。

西日本も「生活保護制度は、憲法25条が保障する『生存権』に基づく。侵害した責任は極めて重い。国は猛省して謝罪し、約千人の原告だけでなく、全ての受給者の減額分を支給しなければならない」と述べている。

「バッシング」について、毎日新聞は「生活保護の受給を恥ずかしいと感じさせる社会風潮もある。国の強引な減額が受給者への偏見を助長した可能性もある」と書いた。朝日も「引き下げ前の『生活保護バッシング』の空気を醸成したのは、メディアの役割が大きかった。街頭の声を集めて、裏取りもせず流す報道が横行した。同じことを繰り返さないよう、自戒することが求められる」などと「自戒」した。

そして、赤旗は「この勝利を力に生活保護行政の改善を求めていきましょう」と呼びかけた。



最高裁での勝利判決に喜びがあふれる、原告・支援者・弁護士ら

裁判の当事者が北九州市に 早速、是正申し入れ

福岡高裁では原告が勝利し、国と北九州市が最高裁に上告しました。早速、原告・弁護士・支援者が、市に是正を求めました。



北九州市に、是正の申し入れをする原告代表

小倉生健会は総会を開きました

小倉生健会は、6月28日に、年に一度の総会を開催しました。総会では、小倉生健会誕生の経過も語られました。

北九州市では、2005年から4人の方が、生活保護の申請を拒否されて餓死するという悲惨な事件が繰り返されました。

全国から弁護士や学者・支援者などの調査団が北九州市に集結し、申請を拒否された28人が申請行動を行いました。保護課は弁護士の申請同行さえも認めませんでした。

こんな時に旧小倉生健会は生健会としての役割を果たしませんでした。後日、その旧小倉生健会が、全生連(全国生健会連合会)を脱退したため、北九州市のゆがんだ生活保護行政を正す生健会を作ろうと、私たちの全生連・小倉生健会を再建しました。



日弁連の生活保護パンフ

日本弁護士連合会(日弁連)は「生活保護制度を多くの人に正しく知ってもらい、必要な人が漏れなく利用できるよとの願いから、このパンフレットを作成しました。是非読んでいただき、活用いただければありがたいです」と述べています。

